

あすの企業年金制度を企業とともに考える

2012年10月

# DCNEWS

損保ジャパンDC証券

No.75

## 【外資系企業様向け 第22回『確定拠出年金導入セミナー』を開催いたしました】

当社は、去る2012年9月20日に六本木ヒルズアカデミー（東京・六本木）におきまして、外資系企業様を対象に「確定拠出年金導入セミナー」を開催いたしました。おかげさまで当セミナーも第22回を迎えることができました。セミナー時にご覧いただく日英翻訳資料は、毎回来場者の皆様にご好評をいただいております。

今回のセミナーでは、当社職員より確定拠出年金の現状や当社サービスに加え、社外より講師をお招きし確定拠出年金導入検討時のポイントや、運用の重要性などについてご説明いただきました。

当日は、多くの人事・財務ご担当者様にお集まりいただき、大盛況のうちに幕を閉じました。今後も、ますます皆様のニーズにお応えできるセミナーを開催していく所存です。



## 【成長ファイナンス推進会議の最終報告について】

前号でもお伝えした、事業の成長・再生や起業で資金を必要とする産業にマネーを供給することを目的として設置された「成長ファイナンス推進会議」の最終報告が、7月9日に公表されました。

成長マネーのパイ拡大対策の一つとして取り上げられていた「確定拠出年金の普及・拡充」について、どのようなとりまとめ結果となったのかを見ていきます。

(詳細は次のURLにてご確認ください。 [http://www.npu.go.jp/policy/policy09/archive07\\_03.html](http://www.npu.go.jp/policy/policy09/archive07_03.html))

### 1 拠出限度額の拡大

1月にスタートしたマッチング拠出制度の実施状況や、従来の限度額の考え方を踏まえつつ、限度額を拡大する方策について、2014年度までに所要の措置を実施することとなりました。

また、老後の資産形成支援という観点から、使用しなかった限度額の残りを翌年以降に繰り越して使用する方法などの対策についても、2012年度に検討を進め、2013年度までには所要の措置がとられることとなりました。

### 2. 加入者対象の拡大

現状、確定拠出年金の加入資格のない公務員や専業主婦等への加入対象資格の拡大について、「社会保障と税の一体改革等の考え方(※)」との整合性を考慮しつつ、2014年度までに結論を出すこととなりました。

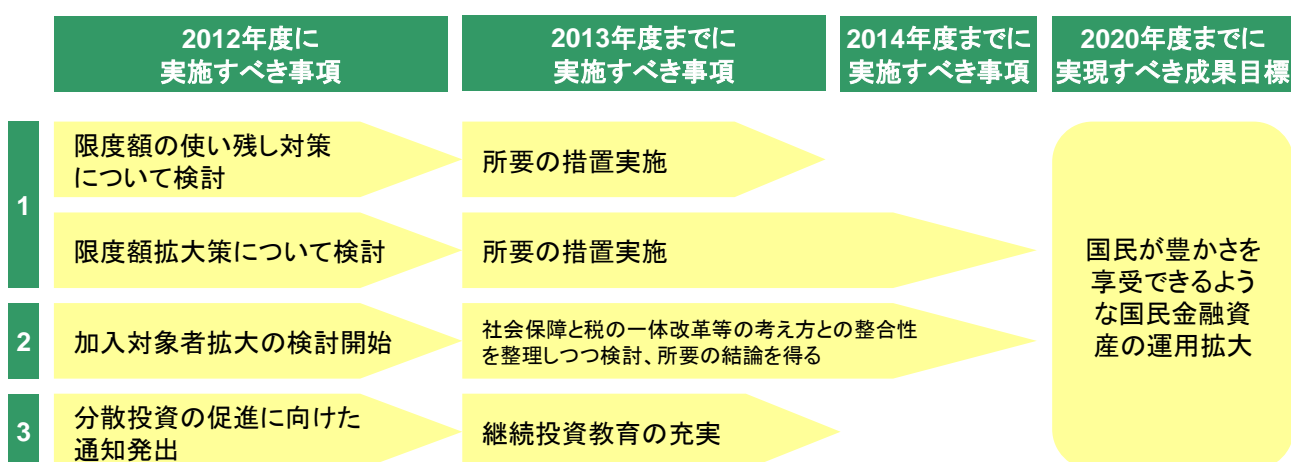
(※)「社会保障と税の一体改革等の考え方」・・・社会保障の充実・安定化と、そのための安定財源確保と財政健全化の同時達成を目指すもので、「社会保障・税一体改革大綱」(平成24年2月閣議決定)等に沿って、順次、関連法案が国会に提出されています。

(詳細は次のURLでご確認ください。 <http://www.cas.go.jp/jp/seisaku/syakaihosyou/>)

### 3. 資産運用の改善

年金運用の基本原則である分散投資の促進に向けた施策を講じるため、継続投資教育の充実、および、投資経験が少ない方などへの選択肢としてデフォルトにより十分に分散された投資信託を自動購入できる旨、2012年度中に厚生労働省から発出される通知に明記されることとなりました。

#### 【施策実施工程表(イメージ)】



最終報告ではこのように具体的なスケジュールが明記されることとなりました。なお、上記は確定拠出年金に関連する施策のみですが、それ以外にも「日本版ISAの所要の検討」「休眠預金の活用」等の施策も検討されています。

このスケジュールに沿って、確定拠出年金制度の拡充を進めていくこととなります。当社におきましても、今後の制度の発展に寄与させていただきたいと考えております。